

## 25万トン型鉱石運搬船「NSU XANADU」竣工

当社は6月20日、伊万里事業所（佐賀県）で建造していたINDIGO LINE S.A.様向け、25万トン型鉱石運搬船「NSU XANADU」を引渡いたしました。

本船は、西豪州積みの最大船型となる「WOZMAX（ウォージーマックス）」の第二世代型の第2番船となります。



### <特長>

- (1) 西豪州主要3港への配船に最適な船型であり、18m喫水で載貨重量25万トンを確認している。また、本船は7ホールド・7ハッチを採用している。
- (2) 最新の国際条約の要件を適用した最新鋭の船型である。また、推進性能や操縦性能を考慮しつつ船首形状最適化による実海域性能をバランスさせた船体形状としている。
- (3) 当社独自開発の『Namura flow Control Fin (NCF)』および『舵付きフィン (Rudder Fin)』を装備し、推進性能の向上と共に燃料消費量の低減を図っている。更には最新型の高効率プロペラ及び低摩擦型船底防汚塗料を採用し、推進性能向上を図っている。
- (4) 港湾内の污水排出規制を考慮し、生活排水や雨水およびホールド洗浄水の船外排出を適切に管理すべく、污水等の貯蔵タンクを装備している。
- (5) ブラジルのPonta da Madeira港への配船を考慮した係船システムとしている。
- (6) 水分を多く含む貨物のビルジ対策として、ビルジウェルを各ホールドの4隅に配置しており、加えてLower stool上部にもビルジウェルを設けるなど、ホールドビルジの排出効率向上を図っている。
- (7) 主機関および主発電機関には、IMO MARPOL Annex VIに適合した低NOx機関を採用しており、更にエア式船尾管シール装置を採用し、環境に配慮した構成としている。
- (8) 機関部冷却システムには、セントラル清水冷却方式を採用し、船内メンテナンス作業の低減を図っている。
- (9) バラストタンク新塗装性能基準(IMO PSPC-WBT規則)を適用し、バラストタンクの腐食防止に努めることにより、船舶の安全性を高めている。

### <主要目>

全長		329.95 m
幅	(型)	57.00 m
夏季満載喫水	(型)	18.00 m
総トン数		135,953 総トン
載貨重量		250,362 重量トン
主機関	MAN B&W 7G70ME-C9.5	1基
定員		30名
船級		日本海事協会 (NK)
船籍		リベリア

以上